2010年度 修士論文題目一覧

氏名	論文題目
木村　泰博	学級環境の操作を加えた集団SSTの効果
嶋田　ひとみ	Pedagogical Content Knowledge の発達を支援する授業に関する実践知ベースの開発 ―高校情報科を事例として―
谷沢　英夫	スウェーデンにおける家族政策の展開と男女共同参画社会への挑戦
森山　真弓	在日ミャンマー人の定住化 ―ライフストーリーから見る移住過程と生活―
山崎　元博	「南関東における古墳時代後期の祭祀遺跡の動向」
青木　菜摘	モルモット十二指腸におけるカハールの介在細胞(ICC)の形態学的解析
赤平　仁奈	凝りの力学特性評価装置の開発と凝り同定手法の検討
網田　泰裕	音韻の並びに着目した音声認識利用者への教示方法の検討
池田　綾	東京都市近郊に生息するニホンイタチの食性の季節的変化
石島　このみ	母子のくすぐり遊びにおける身体性を基盤とした意図理解 ―原三項関係の探究―
伊丹　弘美	インテリア計画支援ツールの研究開発
市川　葵	がん患者、家族の療養場所移行におけるMSWの役割
市川　健	記憶固定が具体的記憶検索訓練における概括的記憶検索方略の修正効果に及ぼす影響
市倉　加奈子	植込み型除細動器治療に対する患者の認識と抑うつおよび不安との関連
稲垣　まりえ	教員と作業療法士の連携のあり方を探る―あさひ学級(情緒障害通級指導学級)の 教員に対するインタビュー調査を中心に―
犬塚　智哉	表面凹凸の周期の違いが指先の粗さ感覚に及ぼす影響
江田　友祐	都市居住者が求める場所の価値とその評価方法に関する研究
江原　稔	いじめ被害による長期的な影響を緩和する要因に関する基礎的研究
王　雅楠	肌色の分類における境界線の知覚に関する研究
大野　みな子	内的ワーキングモデルが中学生の学習動機づけに及ぼす影響　―縦断研究より―
岡野　晃二	背景要因の抽出に有用なインシデント・レポート記述書式の検討
小川　真理子	過敏性腸症候群を有する非臨床群に対する自己教示訓練の効果
小幡　佳菜絵	学校ボランティア・学校インターンにおける、英語科教職課程学生の学びの様相
小山　智史	仕事場面における動機づけ調整方略の効果の検討
何　欣芸	外国人児童生徒の学校生活における支援ニーズ及び支援方法
角　拓海	フリースクールの実態・経年的変化と不登校支援過程モデルの検討
赫　文ジン	国際結婚の文化摩擦　―日中間の国際結婚を中心に―
加藤　恵	ニホンジカ(Cervus nippon)のオスの社会行動と繁殖システムの過去と現在との比較―金華山島の観察から―
川越　美里	過疎・高齢社会における住民・行政・外部支援者の役割　―三重県大台町を例に―
河田　真理	アクセプタンスおよび価値の明確化を取り入れたストレスマネジメント心理教育が労働者の ストレス反応に及ぼす影響
菊地　真実	在宅緩和ケアに関わる薬局薬剤師の現状と抱える問題点に関する研究 ―終末期のがん患者への関わりの経験に関するインタビューを通して―
菊池　雄介	書字行為における望ましい視線と姿勢制御　―筆記具のデザインによるアプローチ―
久保　絢子	体重管理行動の定着に対するアクセプタンス方略の効果アセスメントに関する検討
呉　晨	中国の高齢者施設における中国の高齢者施設における運動?心身健康状態と唾液中ホルモンとの関係
古賀　晴美	外来化学療法を行っているがん患者が抱える主治医との会話における戸惑いの特徴
蔡　韵	日中女性の理想の肌に対する心理学的研究　―色白肌の嗜好に着目して―
齋藤　篤	カザフスタン共和国における学校健康教育に関する研究
清水　馨	職場場面における休職前の兆候とうつ症状の関連
清水　英雄	高運動負荷によるラット無排卵症に対する中脳縫線核または前頭前野皮質破壊効果
清水　悠	気ぞらしの実行量と気ぞらしへの集中がネガティブな反すうと抑うつに及ぼす影響のプロセス
菅谷　充	マンガ初学者のための4コママンガeラーニングコースの設計と実践
妹尾　夏希	コラージュ制作が感情の言語化および気分に及ぼす影響
高田　千尋	想起されたイメージによる心的影響についての考察
田中　かおり	人間への類似度を段階付けされたマルチモーダルエージェントの印象評価
夛屋　早菊	教師のパーソナルな指導理論の視点に基づく小学生の勉強嫌いに関する研究
土屋　和志	肘関節の屈曲動作時に回内・回外動作を加えたときの肩関節周囲筋活動

氏名	論文題目
都築　由理子	江戸遺跡出土漆器の研究
津曲　志帆	養育放置行動を示す保護者の状態像に合わせた母子生活支援施設職員への行動論的コンサルテーションが保護者支援への自己効力感に及ぼす効果
手塚　智之	滞日インド人の移住過程とコミュニティの実態　―山梨県における宝石業界従事者を中心に―
中澤　佳奈子	罪責感の認知・情動的側面が外傷後ストレス症状に及ぼす影響
長瀬　裕子	非行，不良行為経験からの立ち直りにおける当事者と支援者の心理的変容プロセス
中西　俊貴	琵琶湖高島沖ボーリング試料の生物源シリカ含有率から復元した高分解能古環境変動史
中原　登世子	高齢者の医療・福祉・居住を支える地域ケアのあり方に関する検討
新倉　季	被虐待児童における攻撃行動のコントロールを目的としたプログラムの開発および評価
二階堂　香	都市に住む人々の環境意識と環境配慮行動
沼田　絵梨子	鼓膜温測定装置を用いたうつ病早期発見システムの開発
沼田　彩誉子	日本におけるタタール人コミュニティ　―1920～1950年代の東京を中心に―
野田　麻衣子	子別れとしての親子の就寝
埜中　佑也	地域スポーツイベントによるまちづくりの現状と課題　―日本スリーデーマーチに焦点をあてて―
朴　光宇	アイトラッキングによる情報行動の推定とユーザモデルの構築
林　響子	集団社会的スキル訓練における集団の相互作用が児童生徒の学校適応感に及ぼす影響
林　久美子	「近世墓標からみた松前藩の社会」
原　平大	児童および保護者を対象とした通信利用の健康行動介入プログラムの開発 ―フォーマティブリサーチおよびニューズレターの作成―
平田　華奈子	機能性身体症候群における身体症状と認知的統制との関連について ―NIRSによる認知的統制と脳機能の関連の検討―
平原　州二	足指筋力測定器の妥当性の検証
平山　瑶子	怒りの認知処理過程が怒りの処理の持続に及ぼす影響
藤川　千鶴	作業療法士のメンタルヘルス　―神奈川県の現状について―
古田　肇	学校評価における規模の影響に関する研究　―公立小学校の卒業生を対象として―
松岡　志帆	慢性心不全患者の抑うつ症状に及ぼす心理的諸要因の影響
三上　育葉	ペット動物が心理・生理的反応に与える効果
村井　仁美	香りの嗜好が作業に及ぼす効果
森　優貴	友人とのつきあい方の好みがソーシャルサポートおよび社会的スキルの向上を目的とした介入の学校不適応感低減効果に及ぼす影響
森本　克明	認知的フュージョン質問紙を用いた脱フュージョン技法の効果検証
守屋　明	役割固定法がシャイネスの変容に及ぼす影響
山口　孔丹子	青年の精神的困難状態からの回復過程
山本　勝也	警報設備による音情報が避難開始・避難行動に与える影響
内田　みどり	がん医療に携わる医師のストレス要因とコーピングとの関連
横田　有紀子	大学生の境界性パーソナリティ傾向者における表情刺激に対する情動的反応と読み取り

2010年度 課題研究論文題目一覧

氏名	論文題目
大藤　圭	子どもの遊びに対する保護者の態度決定因　―保護者の遊び体験，子ども観との関連―
押山　千秋	重度重複障がい生徒の保護者が知覚したソーシャルサポートが母親の困り感の減少に及ぼす影響
川原　典子	教師と発達障がい児の相互作用を考慮した支援プログラムの検討
樋山　かほる	低コスト集団ソーシャルスキル教育が児童のソーシャルスキルと自己価値に与える効果
宮地　敏子	通級指導学級におけるソーシャルナラティブによる介入の効果
山中　徳子	学校行事が小学生の精神的充足と社会的適応力の継時的変化に与える影響